

富山県射水市企業版ふるさと納税

新 4 年制大学誕生に向けて支援

「医薬品容器製造を基軸に、高品質の製品供給を通じて、人々の健康的な生活を支える」をビジョンに掲げる阪神容器株式会社（本社：富山県富山市、代表取締役：高田 健、以下「当社」）は、地域活性化による地方創生推進の為、富山県射水市企業版ふるさと納税に参画させていただき、この度射水市から感謝状を授与されましたのでご案内いたします。



【寄付の目的と背景】

■富山県が抱える人口減少問題

富山県は北陸3県で最も18歳人口の減少が大きく、大学進学者においても富山県残留率は17%～20%と北陸3県で最も平均値が低い数値となっており、4年制大学も他県と比べても少なく、人口の減少、特に若者の流出については大きな問題と捉えており、富山県内の企業としても、これからも人材を確保していかなければならない中で、富山県内の人口減少問題は、無視できない問題でありました。

■阪神グループとして、寄付に至ったきっかけ

上記で説明した課題がある中で「学校法人浦山学園」が、上記の問題や地域社会の多様な期待や要請に応えるため、2028 年開学を目指し「(仮称)高志大学」の設立を発表され、射水市を通じて寄付を開始された事を知り、何か協力できることがあればと思ったことがきっかけです。

■寄付方法について

[企業版ふるさと納税（地方創生応援税制） | 射水市](#)から寄付を行わせていただきました。

■5月9日感謝状贈呈について射水市企画管理部長様からのコメント

この度は、新大学設立に向けた寄附をいただき、誠にありがとうございました。新しい大学の設立は、多くの若者が夢に向かって活躍する学びの場が新たに創出されるとともに、大学での研究活動は、地域が抱える課題の解決にも寄与するなど、射水市にとって極めて重要なプロジェクトです。

射水市では、高等教育機関が集積している強みを活かしたまちづくりを推進しており、設立後も継続的に大学側と地域企業との連携をサポートすることで、大学が進める実践的な教育プログラム構築に向けた取組を支援してまいります。

引き続き、企業様とのパートナーシップを大切にし、共に地域の発展に寄与していく所存です。今後、企業様と連携しながら、活力あるまちづくりを推進してまいります。

この新大学が地域の未来を切り拓く重要な拠点となるよう、今後ともご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。ありがとうございました。

■当社代表高田のコメント

富山県内に新しい大学が設立されることは、学生にとって選択肢が増えることとなります。教育環境の充実は若者のためにも、またこれからの日本のためにも重要なことだと考えています。高志大学の設立が県外への若者の流出につながることで、また、富山県から、これからの日本経済を支える人材が多く輩出されることを期待しています。

■会社概要

- 【社名】 阪神容器株式会社(阪神グループ)
- 【設立】 1955 年
- 【代表】 代表取締役 高田 健
- 【住所】 富山県富山市小中 163 番地
- 【事業内容】 医薬品容器販売
- 【URL】 <https://www.hanshin-group.co.jp/>

<阪神グループ>

- 1) 阪神ホールディングス株式会社（グループ統括）
- 2) 阪神容器株式会社（医薬品容器販売）
- 3) 阪神化成工業株式会社（医薬品・医療用プラスチック容器を中心とした各種プラスチック用品の製造・販売）
- 4) ファーマパック株式会社（成形充填システムによる医薬品等の受託製造）

<阪神グループの SDGs について>

<https://www.hanshin-group.co.jp/sustainable/sdgs.html>

阪神グループは「阪神グループSDGs宣言」に基づき、事業活動を通じて、「商品・サービス」、「環境」、「人権・働きがい」、「地域・社会貢献」を4つの柱として持続可能な社会の実現に向けて取り組んでまいります。



<報道関係・各種サービスに関するお問い合わせ先>

阪神容器株式会社

TEL：076-429-1865（携帯：070-2253-2058）E-Mail：yu-ueda@hanshin-group.co.jp

担当：上田